

# 創造 おおいた

Oita Prefectural Organization  
for Industry Creation | No. 289  
2025.5

中小企業の元気創造！



「挑戦」 「創造」 「継続・伴走」

公益財団法人 大分県産業創造機構

#トップインタビュー

株式会社 長尾製作所

代表取締役社長

長尾 一生 氏

令和7年度

大分県産業創造機構のご紹介



- 02 明日のおおいた  
総合警備保障(株)大分支社  
支社長 村上 慎太郎 氏
- 03 トップインタビュー  
株式会社 長尾製作所  
代表取締役社長 長尾 一生 氏
- 06 大分県産業創造機構のご紹介
- 12 TOPICS 1  
経営革新計画承認企業の紹介
- 13 TOPICS 2  
令和6年度ものづくり中小企業デジタル化  
事例発表会開催報告
- 14 TOPICS 3  
会員募集案内
- 15 広告  
株式会社シャーロック  
トヨタカローラ大分株式会社  
大分県立図書館 今月の図書紹介
- 16 大分県信用保証協会



公益財団法人 大分県産業創造機構  
〒870-0037  
大分市東春日町 17 番 20 号  
ソフトパークセンタービル  
TEL.097-533-0220  
FAX.097-538-8407  
✉ oric24@columbus.or.jp  
https://www.columbus.or.jp

## 新たな創造について

総合警備保障(株)大分支社長  
むらかみ しんたろう  
村上 慎太郎 氏



2025年2月に着任致しました村上でございます。出身は北九州市で小中高を地元で過ごし、その後、福岡、愛知、東京を経て大分に参りました。大分との出会いは、子供の頃に修学旅行で大分の観光地である「高崎山」や「マリンパレス」を訪れた事や家族旅行で湯布院や別府の温泉旅館に宿泊した事が思い出されます。全てが遠い過去のように感じられる中で、改めて大分の地に降り立ち大分駅前や別府の発展に驚きを隠せませんでしたが、一方で私が思い出としている観光地も健在で安心した次第です。

早いもので大分での生活も2か月が経過し、大分の皆さんとお食事やお話を頂く機会も増え、出身等にとらわれない誰でも受け入れて下さる優しさとお小さな事を気にされない寛容な土地柄である事で、徐々にではありますが、地域に溶け込む事ができております。

このような大分の生活の中で私が感じる大分の魅力について何点かお話をさせて頂きます。先般、車両にて別府市内のお客様訪問に向かっていましたところ、男性の高齢者の方が道端で動けなくなっておりました。当初の段階で私は気づいておりませんでした。同乗していた上司が気付いて救護のため向かいますと10代ぐらいの若者数名が皆で男性高齢者を救護されていました。私は大分に赴任する前は東京で介護事業に携わっておりましたが、緊急性の高い状況時に行動に移れる若者がいることを心強く思ったと同時に大分も高齢化が進む中で人助けができる風土が醸成されていると認識致しました。その後、男性の高齢者の方は、無事に帰宅されました。

また、先ほども申し上げましたが、私は前任地で介護事業の経営に携わっておりましたが、同事業では人手不足が顕著であり、打開策として多くの外国人の方を特定技能制度で受け入れておりました。外国人の方は勤勉で目的意識もしっかりされており、将来の介護事業の担い手として日本でも他国でも通用できる素養があると感じておりましたが、大分では既に多数の外国人の方が働かれており、また、立命館アジア太平洋大学 (APU) のように最先端のグローバル化の取り組みがされている事に驚きを隠せませんでした。まだ、立命館アジア太平洋大学 (APU) にお伺いできておりませんが、是非ご訪問させて頂きたいと考えております。

私は日々、大分の事について学んでおりますが、以前よりある観光資源以外に新たなものとして日田市の取り組みに興味を持っております。日田市は漫画「進撃の巨人」の作者である諫山創先生の出身地であり、日田市でも様々なイベントが実施されています。漫画やアニメについては、新たな日本の産業であり、聖地巡礼等も行われている状況です。大分に来る前より楽しみにしておりましたので、是非お伺いしたいと考えています。

このように大分は以前からある文化や産業だけではなく、若者や外国人の方にも開かれた内容を創造されており、大分と共に歩ませて頂くことを楽しみにしております。

最後になりますが、当社は本年度60周年を迎えます。皆様に支えて頂いていると同時に、皆様に安心・安全をお届けできる企業として警備を中心に介護や検査等の分野や様々なお困り毎に対応する新たなサービスを用意させて頂き、進んで参りますので今後ともよろしくお願い致します。

<b>PROFILE</b>	就任年月日	2025年2月1日
	出身地	福岡県北九州市
	生年月日	1971年9月28日
学歴	1994年3月	福岡大学商学部卒業
略歴	1994年3月	総合警備保障(株)福岡支社入社
	2008年8月	総合警備保障(株)福岡支社セキュリティサービス部警備第一課長
	2016年8月	総合警備保障(株)警備運用技術部工事事務企画課長
	2018年4月	(株)HCM 出向 (取締役)
	2020年4月	(株)らいふホールディングス出向 (取締役)
	2024年4月	(株)らいふ出向 (取締役)
	2025年2月	総合警備保障(株)大分支社長

# Top Interview

半導体製造装置の精密板金加工を主に手がける長尾製作所（本社・佐伯市）。産業機器や電子機器の生産に欠かせない精密板金加工は、微細な部品を扱うため高い技術と設備が必要で、産業の多様化に伴って需要が増え続けている。そんな中、人材確保や技術承継、生産能力拡大などの課題解決に向け、協働ロボットの導入なども進めながら積極的に取り組む長尾一生社長。チャレンジを続ける3代目に、その取り組みや思い、今後の展望などを語っていただいた。



ニーズが高まる精密板金加工業で  
自動化の推進に取り組み  
人材確保や技術継承を目指す

## 株式会社 長尾製作所

代表取締役社長 ながお いっせい  
**長尾 一生** 氏

〈略歴〉1981年、佐伯市生まれ。2000年、長崎県立大学・経済学部・流通科卒業。アパレル関連会社に勤務したのち、2006年、株式会社長尾製作所入社。2020年1月、代表取締役社長に就任。

### 半導体業界を中心に鉄道車両や食品加工機器業界にも参入

—まず御社の歴史からお聞かせください。

1977年に私の祖父にあたる初代が、佐伯市上岡に木工所として創業し、1987年に精密板金加工業へ移行しました。そこから現在の主力である半導体製造装置の事業に本格参入し、需要が爆発的に伸びてきたのに伴って、2000年に現在の堅田に新工場を設立しました。2012年には2代目である父が、台湾との取引を始めました。半導体は浮き沈みの激しい業界で受注の波があり、しかも低コストの中国と比較される時代。そこでロット数の多いものを台湾に委託し、国内工場は多品種少量生産に特化して、対応していきました。2019年に工場を増築し、2020年に私が3代目として社長を受け継ぎました。



佐伯市堅田の本社・工場

—どのような分野の仕事がされているのでしょうか。

板金という一般的なには車の板金などを思い浮かべられるかと思いますが、弊社は半導体製造装置を中心に、食品加工の機械や医療機器、電子部品など、高い精度が要求される金属部品の板金加工を手がけています。2008年にはイギリスの新幹線の屋根カバー製作を手がけ、この時は県内外の同業社の方々にも協力を仰いで、外部とのつながりが深まりました。2018年には東京オリンピックに向けて新国立競技場メインモニターの筐体製作を手がけたのですが、公共工事で工期が限られていたため、新幹線の時の企業様を含めて協力をお願いし、無事、工期内に納めることができました。

同時期に、アルミに天然藍で染色するインディゴ・メタルの事業を開始しました。メインは Oita Made さんと協業して製作したボールペン・万年筆で、今もこれは継続しながら、さまざまな企業とコラボして商品づくりを進めています。

## 協働ロボットの導入と働きやすい環境づくりを推進

—現在、力を入れて取り組んでおられるのはどんなことですか。

現在も半導体製造装置の精密板金加工が中心ですが、近年はAIの普及が進み、半導体の需要が爆発的に伸びる環境下にあると考えられます。それに備えて今、進めているのが自動化の推進です。溶接ロボットを中心に、曲げ工程の自動化なども進め、人手不足を自動化で補い、生産力を上げる取り組みです。

人材確保のために、社内の制度の見直しや福利厚生の拡充などにも力を入れています。実は私が社長に就任したのがコロナの感染が始まった時で、営業にも行けない時期が約2年間続いたのですが、その間に制度の見直しに取り組み、今の時代に合っていない部分を変えていきました。特に効果が大きかったのは評価制度です。年功序列に近い形だったのを、技術的な能力と人間的な能力を査定し、それを基に給料や役職を決める方向へ大きく変えました。賃上げも継続的に実施し、長く安心して働いていただける環境を整えることを、今も継続して行っています。おかげでここ数年は求人への応募も増えてきました。



—社員の皆さんが働きやすい環境づくりは重要ですね。

これは弊社の特長といえると思いますが、工場が空調完備なんです。先代が建てる時に、それまでは暑い・汚い・狭いというのが金属加工工場のイメージだったのを、クリーンで空調の効いた工場をコンセプトにしたんですね。弊社は多品種少量生産なのでお客様の要望に合わせて臨機応変に対応しなければならず、自動化が進んでも人の介在が必要です。パフォーマンスが落ちると、いいものづくりができないので、そこにお金をかけるのは当然と思っています。電気代は高いですけどね(笑)。

—ロボットは若い人たちが興味を持ちますね。

ロボットの導入には大きな目的が二つあります。今の時代、例えばCADで図面を描くような仕事は人気があるけれど、溶接のような現場の仕事は人気がなく、技術者が減っているため、溶接ロボットは職人の技術承継の一つの手段と考えています。

もう一つは、ロボットを扱うことで、若い人に溶接そのものへの興味を持ってもらいたいという思いがあります。曲げなど他の工程も同様ですが、ロボットをプログラミングするためには技術のイロハを覚えないといけない。昔はひたすらやって覚えるやり方だったのが、覚え方が違うだけで、基本は興味を持つことです。そのための工夫でもあるかなと思っています。

—現在、どのようなロボットを導入されているのですか。

人と一緒に働く協働ロボットというのが中心で、溶接では3台使っています。協働ロボットはプログラムを組むのが簡単で、若い人はゲーム感覚でやれる。そして組み方さえ覚えたらロボットがそのとおりに動くので、素人に近い人でもすぐ溶接できるようになるのが一番のメリットです。走るスピードなどは熟練者が調整しないとダメなんですけど、その調整さえしておけば、しっかりしたものができあがります。



——実際にロボット導入の効果は上がっていますか。

代表的な事例では、溶接ができるということで入社した女性が、実際にやってみたらやっぱり難しく、別の仕事をしていたんですね。彼女を溶接ロボットの担当に抜擢して、ベテラン技術者と組んで仕事をしてもらったところ、最初はプログラミングだけやっていたんですが、溶接を基礎からもう一度やってみたいという申し出があり、今は簡単な溶接ができるようになって楽しそうにやっています。ロボットがきっかけで興味を持ち、個人の能力が広がったということですね。

外国人で使いこなしている人もいます。弊社にはベトナムの人が今 26 人いて、専任の通訳も一人雇っていますが、ロボットは言葉がわからなくても手順さえわかれば使えるのが利点で、現在 1 台はベトナムの男性が担当しています。今までは年単位でやらないと一人前になれなかったのが、数ヶ月で戦力になるので助かりますね。できるだけ習得時間を短くして、その分、新しいことにチャレンジしてほしいと考えています。

——ロボットとベテランの技術、両方が必要なのですね。

ロボットにできないこともたくさんあります。例えば一度作った物のリピートは得意ですが、初めて作る物には向いていません。溶接の順番や場所、熱のかけ方などによって曲がったりするので、ノウハウを持った人が検証した上でロボットにやらせないとうまくいかない。熟練の技あつてのロボットなんです。

私は、ものづくりの会社として職人はきちんと評価したい。ドイツのマイスターのような、技術を極める熟練工と、ロボットを駆使してやる人は分けて評価し、ロボットを進めながら日本のコアな技術は残していきたいという思いがあります。

## 組み立て部門もスタートし、仕事の領域拡大へ

——それでは今後の展望についてお聞かせください。

板金一本でなく仕事の領域を広げたいと考え、昨年からは組み立てを始めました。今後、半導体の市場拡大につれて、人と場所の確保が重要になり、お客様も自社でやっていた作業の外部委託を増やしていくと考えられます。その中で選んでいただくためには、トータルでもものづくりができる力を持って

いなければならない。そこで板金、組み立て、プラス保管、出庫という流れを新たな武器としていきたいと考えています。生産能力を上げてお客様の需要に応えるため、県内で工場新設も検討中です。今年から 100 億円企業を目指す中小企業への成長加速補助金が始まるので、弊社にはまだハードルが高いのですが、自分の代でチャレンジしたいなと思っています。

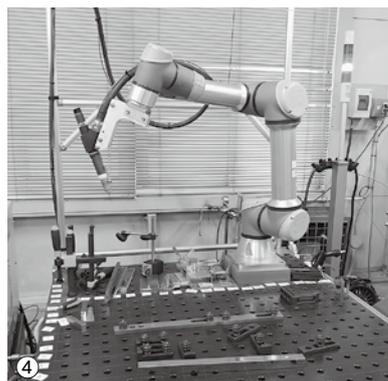
——いろんなことに積極的にチャレンジされていますね。

常に何か考えていますね。最近では地域に関わることにも力を入れてます。大分市で初めての赤ちゃんにお祝いを贈る「はじめてばこ」というのがありますが、その佐伯バージョンの立ち上げに協力したり、春祭りや企業説明会に参加したり。中学生サッカーのクラブチーム立ち上げの支援もしています。

私は若い人に一度は外に出てほしい、そして一人でも多く佐伯に帰って来てほしいと思っています。そう思える町になるために、我々がいろんな所に出て取り組みや考えを発信していかないといけない。企業としてできることを地域のために頑張っていきたいと思いますので、外で知識や経験を積んで、それを佐伯に戻して、活かして次に繋げてほしいと願っています。

## 企業データ

会社名	株式会社 長尾製作所
代表者	代表取締役社長 長尾 一生
所在地	佐伯市堅田 2134-24
T E L	0972-25-1200
創 業	1977 年 2 月
資本金	1,000 万円
従業員数	152 名
事業内容	薄板の SUS 材・アルミ材・鉄材による精密板金加工、SUS 材による各種装置用フレーム製作、インディゴ・メタル事業（アルミニウムへの着色）
	<a href="https://www.nagaoss.co.jp">https://www.nagaoss.co.jp</a>



- ①金属の穴開けや切断を行うパンチ・レーザー複合機
- ②高い技術により精緻で丁寧な仕上げを実現
- ③インディゴ・メタルを採用した JAPAN BLUE 万年筆・ボールペン
- ④溶接作業を行う協働溶接ロボット



## 機構第四期中期経営計画

### 計画期間

令和5～7年度（3か年）

### 計画理念

「中小企業の元気創造！」  
～皆様と共に成長し、変化する時代に挑戦します～

### 行動指針

- ①スピードと現場力の発揮
- ②多様化するニーズへの対応
- ③他機関との連携強化

## 【新規・重点項目】

### DXの推進

DXに取り組む事業者と支援する企業のマッチングに取り組むとともに、機構内においても、DX人材の育成やデジタル技術の活用による現場対応力強化、事務手続きの効率化に努めます。

#### (1) 先端技術産業の創出

- ①国の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）を活用した高度な技術開発支援
- ②先端技術分野（DX含）へ挑戦する企業への伴走支援
- ③宇宙関連産業の情報提供や展示会出展、衛星、ロケット開発企業とのマッチング支援

#### (2) 新事業活動支援

- ①経営革新計画の策定に向けた事業計画のブラッシュアップ及び計画認定後の支援策活用へのフォローアップに係る伴走支援
- ②ものづくり補助金、省力化補助金等、国や県などの補助金を活用するための事業計画への助言及び申請サポート
- ③スタートアップセンターにおける創業相談や創業セミナーによる創業支援、県のスタートアップ支援事業の採択者（成長志向起業家、若手後継者、女性起業家）へのフォローアップやコミュニティ形成に向けた支援
- ④「おおいた中小企業活力創出基金」を活用した新商品開発等への支援
- ⑤産学官金連携の強化による新たなビジネス展開の促進

#### (3) 経営力の安定・強化

- ①県内外企業とのマッチングの推進
- ②県内商談会・広域商談会の開催による取引の拡大支援
- ③県外の展示会等への出展支援による販路開拓・拡大の促進
- ④よろず支援拠点による伴走支援の強化（課題解決力、満足度のさらなる向上）

#### (4) 分野別集中支援

- ①県内の自動車関連企業の取引拡大に向けたマッチング活動と自動車分野に新規参入したい県内企業への支援
- ②「おおいたLSIクラスター構想」に基づく半導体関連企業の成長支援

#### (5) 多様な人材の育成・活躍推進

- ①激変する時代に挑戦する意欲のある人材の育成
- ②女性の活躍推進

## 総務企画課

事業を円滑に運営するために、企画・立案、管理調整機能を発揮します！

### 1 事業計画の企画調整

- (1) 中期経営計画、年度ごとの事業計画の企画及び調整を行います。
- (2) 上記計画に基づき、組織・人事・予算などの執行管理を行います。

### 2 施策・事業の総合企画及び支援機関との連携

- (1) 支援策の効果を高めるための企画・立案を行います。
- (2) 商工団体や金融機関等との連携強化を図ります。

### 3 評議員会及び理事会

評議員会、理事会に関する事務を行います。

### 4 会員事業

会員の募集等に関する事務を行います。

### 5 情報の提供

- ・ホームページによる情報の提供
- ・「創造おおいた」の発行
- ・行政情報提供サービス、メール配信の実施

### 6 研修の実施

県内の中小企業・小規模事業者が必要とする人材を育成するため、マネジメント、人事、労務、会計実務、財務、営業力向上、生産管理、ビジネスマナー、コミュニケーションなどの多様な研修を実施します。



スタッフ 藤原 崇	スタッフ 高橋 千晶	マネージャー 大渡 年春	スタッフ 石川 真由美
課長代理 森竹 亮介	事務局長兼総務企画課長 高橋 知恵	主事 森迫 慧士郎	

## 取引振興課

営業を勝ち抜くヒント！取引に関する相談はこちらまで

### 1 取引の情報収集・提供（受発注の紹介あっせん）

- (1) 県内外の発注企業の案件開拓・巡回、また他県の中小企業支援機関との連携により、県内企業へ発注案件等を紹介します。
- (2) 取引拡大を目的とした商談会の開催や、自社製品・技術アピールを希望する企業の展示会への出展を支援します。
- (3) 地場企業が抱える課題について、専門調査員が課題解決のお手伝いをします。

### 2 自動車関連産業への取引拡大支援

自動車関連産業の更なる拡大・集積を図るため、「自動車関連産業支援プロジェクトチーム」を設置しています。

### 3 先端分野への挑戦支援

航空宇宙、衛星データ活用など、成長が期待される先端分野への参入に向けた情報提供、プロジェクト立ち上げ支援等を行います。

### 4 IoT等デジタル技術の導入支援

IoTなど、企業の生産性を向上させるデジタル技術の導入や技術人材の育成を支援します。

### 5 下請かけこみ寺

下請取引に関するご相談を受け、解決の手伝いをする「下請かけこみ寺」事業を実施しています。



コーディネーター 井上 薫	プロジェクトサブマネージャー 藤田 俊吾	プロジェクトマネージャー 村木 豊勝	課長 佐藤 秀昭	かけこみ寺相談員 稗田 俊廣	スタッフ 森崎 真
専門員 渡辺 恵子	課長代理 宇都宮 良枝	主事 西郷 舞	専門調査員 樹田 耕平		

## 経営支援課

経営上の悩みや課題はありませんか。  
経営力の向上に向けて、ともに考え全力で応援します！

### 1 経営相談対応及び施策活用の支援

中小企業が抱える様々な経営相談に対し、他の支援機関等とも連携し幅広く総合的に対応します。必要に応じて、国・県等の支援施策の活用を後押しします。

### 2 「経営革新計画」の策定等支援

中小企業・小規模事業者が策定する「経営革新計画」の事業計画をブラッシュアップし、県への申請支援を行います。

県知事承認された経営革新計画の事業について、補助金申請や金融機関への紹介のフォローアップを行います。

### 3 中小企業支援アドバイザーの派遣

中小企業が抱える経営課題のうち、より高度・専門的な課題については、当機構に登録しているアドバイザーの中から、当該課題の解決に最も適したアドバイザーを選定し、中小企業に派遣します。（費用の一部が生じる場合があります）



参事	マネージャー	課長	主任	主事
大津 美由紀	木許 正弘	中野 裕子	和田 晋作	宗像 祥司

## おおいたスタートアップセンター

起業家の熱い思いを大切に、大分に新風を吹き込みます！  
「ここから大分が動き出す！」

県内に創業の気運を高め、創業の裾野を拡大するとともに、成長志向起業家を輩出するため、各種セミナーや創業相談、資金調達支援、各種イベントなどの取組を行っています。また、創業者の様々な相談ニーズにお応えするための窓口を設置（要電話予約。平日9時から17時まで）しています。

〈住所〉

大分市東春日町 17 番 20 号 大分第2ソフィアプラザビル5階

〈施設の概要〉

- ・インキュベーションオフィス 個室（3室）、ブース席（5席）
- ・交流スペース（会員であれば、どなたでも利用可能）（予約不要）
- ・セミナールーム



スタッフ	マネージャー	センター長	コーディネーター	コーディネーター	コーディネーター
岡本 美春	澤田 照彦	岩崎 美紀	淵野 麻美子	古城 正信	川野 幹雄

## 地域産業育成課

多様な主体の連携を促進し、大分発の新事業・新商品の創出を応援します！

### 1 商品開発・販路開拓の支援

- ①新たな商品の開発・販路開拓などに要する経費を対象に助成金を交付しています。
- ②県外・海外への販路拡大を図るため、展示会・商談会等への出展支援など行います。

### 2 研究開発の支援

大学などの研究機関の技術シーズや企業ニーズを発掘し、マッチングを行うほか、Go-Tech 事業等研究開発補助事業の事業管理機関として、応募手続から事業推進まで幅広いサポートを行います。

### 3 連携の促進

「大分県産学官金連携推進会議」を運営し、産学官金連携の案件発掘、マッチングを行うほか、共同研究の苗床として、交流グループ活動を支援し、大分県産学官金交流大会等で成果を発表しています。

### 4 大分県6次産業化・地域資源活用・地域連携サポートセンター

農林漁業者及び中小企業者が、農林水産物を始めとする多様な地域資源を使って新商品開発や新事業を行う「6次産業化・地域資源活用・地域連携」の支援窓口として、電話相談に対する助言や、専門家（プランナー）による経営改善に対するサポートを行うとともに、研修会等を開催して6次産業化の実現に向けた支援を行います。



主査 園田 康人  
課長代理 上野 将之  
課長 奈須 稔  
スタッフ 伊吹 昌代



産学官金交流支援チーム

コーディネーター 池田 喜一  
主任 松井 みなみ  
参与 小谷 公人  
マネージャー 藤野 勝彦



大分県6次産業化・地域資源活用・地域連携サポートセンター

企画推進員 人見 美智子  
アグリプランナー 葛城 和夫  
企画推進員 上村 賢治

## LSIクラスター推進局

「未来を拓く 産業モデルの創出 ～想いをカタチに 共感で広げる～」をスローガンに国際的な競争力を有する21世紀の半導体生産拠点形成を目指します！

### 大分県 LSI クラスター形成推進会議の運営

- (1) 会員企業の新事業チャレンジやニッチトップを目指す事業化支援を行います。
- (2) 新たなビジネス基盤創出に向けた技術セミナー等を実施し、人材育成の支援を行います。
- (3) 国内外の団体・企業とのビジネス交流を行い、販路開拓の支援を行います。
- (4) 様々なネットワーク形成のため交流支援を行います。

〈住所〉大分市高江西 1-4361-10  
(大分県産業科学技術センター内)



コーディネーター 後藤 康浩  
事務局長 矢野 勇  
次長 檜原 樹

# 大分県よろず支援拠点

中小企業や個人・創業希望者を対象に、様々な分野の専門家が、無料で経営に関するあらゆる課題解決に取り組む事業者様を支援します

## 主な相談内容・支援内容

### 【創業】

創業したい方の情熱や夢をカタチにし、実現するための支援をします。儲かるしくみの作り方、創業計画の書き方、資金の調達方法、税に関することもお伝えします。

### 【経営改善】

借入金の返済負担や資金繰りなど、財務上の問題を抱えている事業者さんの支援をします。改善計画の作り方、係数管理、金融機関との付き合い方もお伝えします。

### 【人手不足対応】

商品・サービスには自信があるのに人手が足りない。そんな事業者さんに求人票の書き方、就業規則や給料表等、人材を確保するための受け皿整備の方法をご提案します。

### 【IT活用】

SNSによる広報戦略、データの有効活用、業務効率化や生産性向上に関するシステム導入等、営業力や経営力強化に向けたIT活用を提案・支援します。

### 【販売促進】

販路開拓や営業の仕方、商品の磨き上げ、情報発信などの商品販売力向上を支援します。展示会等へ出展や商談する際のアドバイスもお任せください。

### 【商品開発】

新商品づくりや新サービスの立ち上げに向けて、そのアイデアの方向性からデザインや広報戦略、知的財産まで、商品化や事業化のためのノウハウをお伝えします。

## 出張相談会

【中津市】 第1火曜日 新博多町交流センター

【宇佐市】 第3木曜日 宇佐市役所

【日田市】 隔月第3水曜日 日田玖珠地域産業振興センター

【国東市】 第4水曜日 国東市役所

【佐伯市】 第2火曜日 佐伯市役所

【県立図書館】 第1、第3土曜日

※相談会の日程については、当拠点のホームページ等でご確認ください。

※ 相談支援のお問い合わせ・お申込みは右記の大分県よろず支援拠点まで

TEL 097-537-2837 [祝日を除く 月～金 (8:30-17:00)]



コーディネーター 興梠 貴寛      コーディネーター 宮崎 誠      コーディネーター 工藤 俊二郎      コーディネーター 吉良 博      コーディネーター 二宮 基陽      コーディネーター 工藤 崇      コーディネーター 森若 利幸      コーディネーター 亀山 友一郎

コーディネーター 森 海里      スタッフ 坪井 美弥子      スタッフ 田中 裕美      マネージャー 足立 晃成      コーディネーター 佐々木 俊司      コーディネーター 新名 康行      コーディネーター 篠原 丈司      コーディネーター 木許 大      コーディネーター 池田 至郎      コーディネーター 堀 寿弘

コーディネーター 飯田 裕美      コーディネーター 阿南 寿和      コーディネーター 油布 恒文      チーフコーディネーター 富田 一弘      コーディネーター 関谷 忠      コーディネーター 南 政典      コーディネーター 是永 逸郎      コーディネーター 三室 忠之

## 経営革新計画承認企業の紹介

### 有限会社秀栄社

テーマ：弊社オリジナル Jibun EHON の販路開拓事業

〈概要〉パーソナライズ（顧客全員に同じサービスやコンテンツを提供するのではなく、趣味嗜好性に沿った内容にコンテンツを変化させる）絵本の製作販売事業をします。EC サイトを使った個人向けのパーソナライズ絵本という点で当社にとって、これまでにない取り組みです。絵本の内容は『桃太郎』『一寸法師』等、日本の昔話をベースにパーソナライズなコンテンツを作成します。当社の製本技術で、受注から製造まで一貫して出来ることが活かされおり、それは製品の価格面、品質面、利便性などにおいて他社との差別化が可能であると判断しています。

 JibunEHON



**代表者コメント** 弊社は、印刷を専門とする企業として、お客様に高品質なサービスと製品を提供しております。長年の経験と確かな技術力を活かし、印刷を通じて、お客様の多様なニーズに応えてまいりました。常に品質向上とお客様満足を最優先に考え、信頼されるパートナーとして成長を続けております。このたび、弊社オリジナル「Jibun EHON」を手掛け、時代の変化に対応しながら、より一層質の高いサービスの提供に努めてまいります。

有限会社秀栄社  
代表取締役 後藤 文利  
大分市西新地2丁目3番 34号  
TEL.097-551-8780  
<https://syueisya-oita.jp>

### 株式会社なかつ空き家管理サポート

テーマ：「地域密着型の心の整理と遺品整理・生前整理サービス～安心と笑顔を届ける取り組み～」

〈概要〉弊社は、ご遺族様が大切な人との思い出を大切にしながら、新たな一歩を踏み出せるよう、心の整理をお手伝いする「遺品整理」と、前向きに生きる人生の準備をサポートする「生前整理」を通じて、お客様の安心や心の豊かさに繋がる支援を提供します。特に女性ならではのお悩みにも寄り添い、「安心して頼れる遺品・生前整理業者」として、ご依頼主様が前向きな一歩を踏み出せるよう全力でサポートいたします。



**代表者コメント** 私たちは昭和41年の創業以来、一般廃棄物収集運搬業者として、地域の暮らしを支え続けてきました。この度、地域の方の声から生まれた、家じまいを支援する新たな事業を開始することで「ようやく老後の不安が一つ減った」「任せてよかった」と感謝のお言葉を頂く機会も増えました。今後も、整理・清掃のプロという意識と責任を持ち、お客様の安心に繋がるサービスを目指して参ります。



株式会社なかつ空き家管理サポート  
代表取締役 原 彩乃  
中津市大字永添 1150 番地 1  
TEL.0979-24-0755  
<https://akiya-support.jp/>

### cottoru

テーマ：男池やくじゅうの魅力伝えるために ～デザイナーが経営するカフェのオープン～

〈概要〉2024年9月10日くじゅうの日に由布市庄内町阿蘇野の男池湧水群入口前に、Cafe Morgenrot(カフェ モルゲンロート)をオープンしました。男池を訪れた人が気軽に寄れる「いこいの場所」として、男池の天然水を利用したコーヒー等の提供を行っています。ここでは、デザインの力を活かして集客を強化し、来店されたお客様やカフェで知り合った方を通じて、デザインの依頼を増やしていくことを目指しています。また、カフェでの活動やデザインを通じて、地域である公的機関からのデザイン依頼も増やし、地域全体と共に成長していくことを目標としています。カフェのインテリアやメニューには山や自然をモチーフとして取り入れ、訪れるたびに新しいデザイン体験を提供します。四季折々の自然の変化に合わせたデザインや展示を行うことで、お客様に季節感を感じていただき、再訪したくなる魅力を持たせる工夫をしています。



**代表者コメント** 『くじゅうとつながりくじゅうと遊べるカフェ』をパーパスに掲げ、男池湧水群やくじゅう連山の魅力を伝えるためにカフェをオープンしました。カフェがあることでその場に訪れる人が増え、男池周辺の滞在時間を増やし、リピーターへとつなげていきます。また、お店やターゲット層につたわるデザインで魅力を伝えることにより、デザインのチカラを感じていただけます。美しい原生林がある男池へ、ぜひ遊びにお越しください。

cottoru  
代表 野々下 桂子  
佐伯市上岡 1790-8  
<https://cottoru-design.studio.site/>

# 令和6年度ものづくり中小企業デジタル化事例発表会 開催報告

令和7年3月7日（金）に「令和6年度ものづくり中小企業デジタル化事例発表会」を開催しました。大分県内の製造業のデジタル化を進めるうえで参考にさせていただく目的で、次の3社に取り組みを発表していただきました。

## 【県内中小製造業者のIoT導入を支援する「スマートものづくり応援隊」の活動事例】

柳井電機工業(株)：「食品製造業へのロボット導入事例」

## 【令和6年度デジタル化推進事業費補助金採択事例（大分県）】

(株)生島煙火：『「煙火管理システム」製作による業務効率化』

## 【自社内で取り組んだDX化事例】

(株)デンケン：「100日で実現した3次元CAD立上とRPAによる業務改善」

また、当機構より令和7年度の事業、補助金についても説明を行いました。



参加者は「事例発表のテーマに興味があった」、「情報収集」を目的した方が多く、令和7年度の補助金やスマートものづくり応援隊派遣を通じて、デジタル化導入を検討されるようです。

今年度もセミナーや応援隊派遣などを通じて、製造業向けデジタル化の情報を発信していきます。自社のデジタル化を検討される際には当機構の事業をご活用ください。

本年度関連する補助金情報（更新されるため、最新情報は各HPでご確認を!）

### ◎令和7年度スマートものづくり加速化推進事業費補助金（5月23日締切）

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/14200/r7sumamono.html>



### ◎その他類似補助金

IT導入補助金2025（第1回5月12日締切）

<https://it-shien.smrj.go.jp/about/>



### 中小企業省力化投資補助金

（カタログ型：随時、一般型：第2回5月30日締切）

<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



# 公益財団法人大分県産業創造機構

## 会員募集

### 会員特典

1

#### 月刊誌 「創造おおいた」を お届けします

県内の企業紹介、補助金情報、  
機構の活動などを  
会員の皆様へお届けしています。

2

#### FAX配信サービス

補助金、セミナー、展示会等の  
情報をお届けしています。

3

#### 研修受講料と会議室 利用料の割引

4

#### 貴社と機構の連携を 密にします

機構職員の訪問や専門家派遣等により、  
貴社のニーズに応じた伴走支援を行います。

当機構は、県内中小企業がその強みを発揮し成長することにより、本県産業経済が発展するよう、積極的かつ総合的な支援を展開しております。

関係企業の方々に当機構の活動をご理解いただき、会員へのご入会をお勧めいたします。



会員募集ページはこちら▶

### 年会費

一般会員 12,000円 / 1口～

特別会員 100,000円 / 1口～

～現在の会員～ (R7.3.31)

一般会員 870社

特別会員 45社



〒870-0037 大分市東春日町17番20号 ソフトパークセンタービル内

(公財)大分県産業創造機構 総務企画課

TEL 097-534-4702 FAX 097-538-8407

今月の記事

なぜ検索からの集客が大切なのか

- ・集客施策に優先度を付けよう
- ・検索から来るお客さんは今すぐ欲しいお客さん
- ・「今すぐ欲しいお客さん」は検索から
- ・SNS での検索は？

今すぐチェック！



YouTube動画もあります！



大分地域密着型ウェブコンサルティング  
株式会社 シャーロック

<https://sherlocks.co.jp/>  
大分市府内町三丁目 4 番 20 号



0800-777-6469

あなたを笑顔に

make you smile

TOYOTA COROLLA OITA

大分県立図書館 今月の図書紹介



超実践！今日からできる職場の多様性活用ハンドブック



前田 京子／著  
日本能率協会マネジメントセンター  
2,530 円 (税込み)

多様性 (ダイバーシティ) がもたらすメリットは、企業や組織が中長期的に成長し続けること、ひとりひとりのスキルアップにつながることにあります。「働き方改革」「ダイバーシティ経営」が求められる中でのジェンダー平等、LGBTQ+ の理解と支援、障がい者・シニア社員・外国人材や経験者の活躍まで、「違い」を職場で活かす方法がわかる 1 冊です。

『トラブルを未然に防ぐ「中小企業の契約書」読み方・作り方・結び方』

池田 聡／著 日本実業出版社 2,200 円 (税込み)

『マネジメントに役立つエンゲージメントの高め方がよくわかる本』

境 修／著 秀和システム 1,870 円 (税込み)

『PR のススメ 小さな会社こそ、社長が広報をしよう』

阿部 重郎／著 自由国民社 1,760 円 (税込み)

『業種別業界情報 2025 年版』

中小企業動向調査会／編著 経営情報出版社 24,619 円 (税込み)

県立図書館では、ビジネスパーソンを応援するために企業・経営等に役立つ実用書や雑誌を集めた「仕事と暮らしの情報コーナー」を設置しています。ぜひご利用ください！

毎月第 2 日曜日に大分県立図書館で「経営無料相談会」実施中！  
(協力：大分県中小企業診断士協会)

電子書籍サービス (KinoDen) ビジネス関係本のコンテンツ数も随時拡大中です

〈お問い合わせ〉

大分県立図書館 情報サービス担当 TEL.097-546-9972

<https://www.oita-library.jp/> (本の検索ができます)



# 大分県経営安心借換資金のご案内

本制度は、金利上昇や人件費高騰などの影響により、増加した負債の返済に悩む事業者の方が借換を行い、資金繰りの安定を図ることを目的とした保証制度です。ぜひご利用ください。

## ご利用いただける方

既往借入金の借換えを行う方で、以下のいずれかの認定等を受けた方

- ①セーフティネット保証5号
- ②最近1カ月間の売上高、売上高総利益率  
又は売上高営業利益率が前年同月比で5%以上減少
- ③最近1カ月間の売上高総利益率  
又は売上高営業利益率が直近決算の同指標と比較して5%以上減少
- ④直近決算の売上高総利益率  
又は売上高営業利益率が直近決算前期の同指標と比較して5%以上減少

## 制度概要

保証限度額	2億8,000万円
資金使途	既存借入金の借換えを含む 設備・運転資金
保証期間	15年以内(うち据置5年以内)
貸付金利	7年まで年1.6% 10年まで年1.8% 15年まで年2.2%
担保	必要に応じて
連帯保証人	必要となる場合があります。ただし、法人代表者以外の連帯保証人は原則不要です。
保証料率	年0.15%~0.65% ※SN認定の場合は0.45%
その他	セーフティネット5号認定または売上等減少要件確認書の提出が必要となります。

## お問い合わせ先

信頼、提案、飛躍、夢またひとつ新時代へ

 **大分県信用保証協会**

保証部：保証一課 (097-532-8246)  
保証二課 (097-532-8247)  
創業・連携推進課 (097-532-8295)  
経営支援部：経営支援一課 (097-532-8296)  
経営支援二課 (097-532-8297)